

あなたの避難行動を決めておこう

避難行動を決めることは災害発生時の安全性を高めます。3つの項目を参考に決めておきましょう。



チェック1 ハザードマップ



「相模川・目久尻川・鳩川・永池川の浸水想定区域」「相模川の家屋倒壊等氾濫想定区域」「土砂災害(特別)警戒区域」「内水浸水想定区域」のハザードマップを防災ガイドブックに掲載しています。自宅周辺の状況を確認しましょう。
災害の危険性が低い居住地域の場合でも、想定を超える災害が起きたときの行動を考えましょう。

チェック2 避難のタイミング

市がお知らせする避難情報の警戒レベル(下表)を目安に、「『警戒レベル4 避難指示』の発令までには避難する」など、避難開始のタイミングを決めておきましょう。

警戒レベル	避難情報	取るべき行動
5	緊急安全確保	安全な避難ができず命が危険な状況直ちに命を守る行動をとる
4	避難指示	発令地区の危険な場所にいる場合は避難
3	高齢者等避難	高齢者・障がい者・乳幼児など避難に時間がかかる方と支援者は避難
2	大雨・洪水注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報	防災ガイドブックを見直すなど災害への心構えを高める

チェック3 避難方法

避難所への避難のほかにも避難方法には選択肢があります。被害状況を予測し、家庭の状況などを踏まえて決めましょう。

自宅とその周辺の安全が確保できる場合は、「在宅避難」も一つの選択肢です。

親戚や知人宅への縁故避難

車中泊避難

ホテル避難

自宅が安全な場合の在宅避難

風水害は事前に予測できる災害です。天気予報などを確認し、早めの準備を心掛けてください。災害が予測されるとき、市民の



危機管理課 課長 早野文雄

早めの準備と避難を

皆さんが比較的安全的な時間帯に避難できるように、避難情報として市は「警戒レベル3 高齢者等避難」を発令します。お子さんがいる家庭や避難に時間がかかるなどの人は、このタイミングで避難を始めてください。
洪水が発生した場合、相模川の浸水想定区域内では停電や断水、電話の不通などが想定されます。市から「警戒レベル4 避難指示」が出たときは直ちに避難を開始してください。ご協力をお願いします。

風水害を知り、備える いつ、どこに、どのように 避難しますか

閩危機管理課 ☎(235)4790

市内の浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域のイメージ



これから雨量が増える季節に入ります。大雨や台風などの風水害が起きたときの行動を決めておきましょう。「もしも」を考え、風水害に備えましょう。
避難行動をイメージしよう
海老名市の地形は西部の平地と東部の丘陵地帯に大きく二分されています。居住地域ごとに想定される被害は異なり、世帯構成、車、ペットの有無などで避難行動は変わります。居住地域が異なる3人の行動を参考にイメージしてみてください。
ハザードマップページ



災害の危険性が低い地区に住むAさん

世帯構成: 大人 2人

車: あり

ペット: なし

ハザードマップでは危険性が低いので、在宅避難を考えています。大雨や台風が予想されるときは、相模川付近に住んでいる祖母を車で迎えに行き、一緒に在宅避難をします。

雨風が強いときは、道路から自宅に水が流れ込まないように玄関先に土のうを置いたり、窓ガラスが割れないようにテープを貼ったりして対策しています。

土砂災害(特別)警戒区域内に住むBさん

世帯構成: 大人 1人

車: なし

ペット: なし

大雨のときは家の裏の崖が崩れる可能性があります。土砂崩れに巻き込まれないよう、崖から離れた部屋で寝るようになっています。
足が不自由で避難に時間がかかるので、市から「警戒レベル3 高齢者等避難」が発令されたら、最寄りの避難所の大谷小学校に避難する予定です。すぐに行動できるように、非常用持ち出し品は玄関の近くに常置しています。

河川の浸水想定区域内に住むAさん

世帯構成: 大人 2人, 子ども 2人

車: あり

ペット: あり(犬)

相模川の近くに住んでいるので、大雨や台風による氾濫が心配です。幼い子どもや愛犬がいるので、多くの人が集まる避難所は避けたいと思っています。
親戚宅への避難も考えていますが、城山ダムが緊急放流するとき、ららぽーと海老名の立体駐車場に車で避難することになっています。

